

7

被爆80年、霞キャンパスで学ぶ 近代遺跡と医学部の歴史

広島大学総合博物館では、さまざまな調査研究、教育普及活動に取り組んでいます。本講座では、被爆80年を機に、霞キャンパスの遺跡と医学部の歴史を学びます。霞キャンパス全域は陸軍関連遺跡（兵器補給廠地点）として登録されています。それらの調査成果から軍都広島の世界文化を知るとともに、現在この地にある医学部の歴史についても学びます。また、実際にキャンパスを歩いて遺跡の景観を想像し、実際に確認された遺構の見学を行います。講座前後の日程で、医学資料館には被爆医療や原爆医学研究の取り組みの一端を知ることができる資料が展示されています。霞キャンパスから出土した考古資料も展示しますのでこれらの見学も行います。講座を通して、軍都広島の近代遺跡および医学部の歴史について知ってもらえれば幸いです。

会 場	対 面： 広島大学霞キャンパス 原爆放射線医科学研究所研究棟 5階 講堂 オンライン： -
時 間	①13:00～14:15 ②14:25～15:40 ③15:50～17:05 *移動時間の関係上、各回の時間配分を調整する可能性があります。
定 員	対 面： 60 名 オンライン： - 名
対 象	どなたでも
受講料	無料
申込方法	郵送・Web
申込期限	一次申込締切： 10/20 (月) ※ 定員に達しなければ 12/24 (水) (必着) まで先着順で受付

軍都広島の考古学－霞キャンパスの遺跡調査成果

講 師： 総合博物館 研究員 石丸 恵利子

第1回

1/10 (土)

①13:00～14:15

これまでの霞キャンパスの陸軍関連遺跡（兵器補給廠地点）の調査成果を紹介します。被爆80年にあたり、近代遺跡や当時の暮らしや文化について学びます。身近にある文化財への理解と関心を深め、平和と歴史について思いを馳せてもらえればと思います。

霞キャンパスの遺跡巡り—近代遺跡と医学の歴史を見て学ぶ

講師： 総合博物館 研究員 石丸 恵利子
原爆放射線医科学研究所 特命准教授 久保田 明子

第2回

1/10 (土)

②14:25~15:40

霞キャンパスを歩き、兵器補給廠がどのような遺跡なのかを学びます。移築した実際の遺構を現地で見学して、当時の景観も想像してもらいます。また医学資料館では、霞キャンパスから出土した資料と原爆医学研究の取り組みの一端を知ることができる資料が展示されています。これらの展示解説も行います。

赤レンガからの広島大学医学部

講師： 原爆放射線医科学研究所 特命准教授 久保田 明子

第3回

1/10 (土)

③15:50~17:05

広島大学医学部は、前身の県立広島医科大学の開校が1945年8月5日であったこともあって、当分広島市内からは離れざるを得ませんでした。現在の霞キャンパスに移転が完了するのは1957年でしたが、そのときはまだ兵器補給廠の赤レンガの建物が並んでおり、そこからスタートすることとなりました。そういった経緯とその後の原爆医学への取り組みについてお話しします。

講座内容に関する
お問い合わせ先

総合博物館（埋蔵文化財調査部門） 担当 石丸 恵利子

電話： 082-424-6198

メール： ishimaru@hiroshima-u.ac.jp